

エイプリルフール企画のご案内です

2016年3月31日
株式会社ダスキン

ミスタードーナツ創業 46 年目の快挙 世界初、「しゃべるドーナツ」を開発！ まずはオールドファッション型など人気 3 タイプを発売予定



株式会社ダスキン(本社:大阪府吹田市、社長:山村 輝治)が運営するミスタードーナツは、世界初の「しゃべるドーナツ」を開発いたしました。

近年、一人暮らし世帯の増加やスマートフォンなどデジタルツール普及によりコミュニケーション量の減少が社会問題となっております。この問題を深刻にとらえた当社は、皆様にご愛顧いただいているドーナツが会話の相手やコミュニケーションツールになるのではないかと考え、ダスキン本社近くの研究施設内で商品開発に着手しておりました。そして、このたび長年の研究開発を経て、完成に至った次第です。

「しゃべるドーナツ」は 3 タイプあり、価格はそれぞれ 1072 万円(税込)です。ミスタードーナツ全店(一部店舗を除く)で 2016 年中の発売を予定しております。

【「しゃべるドーナツ」概要】

- 製品名 「しゃべるドーナツ」 3 タイプ
(オールドファッション型、フレンチクルーラー型、ポン・デ・リング型)
- 発売日 2016 年中を予定
- 対象ショップ ミスタードーナツ全店(一部店舗を除く)
- 価格(税込) 各 1072 万円
- 参考サイト http://www.misterdonut.jp/topics/apr_f2016/index.html

【商品開発背景】

①会話をする相手のいない一人暮らし世帯の増加

近年、一人暮らし世帯が増加しております。そもそも会話をする相手がいない一人暮らし世帯では、「しゃべるドーナツ」が会話の相手になるため、「しゃべるドーナツ」がコミュニケーション量増加に寄与すると考えました。

②スマートフォンなどデジタルツール普及によるコミュニケーションの減少

スマートフォンなど高性能なデジタルツールが普及したことにより、コミュニケーション量が減少しております。家族や友人、大切な人とドーナツを食べるとき、「しゃべるドーナツ」が「しゃべる」ことにより、会話のきっかけとなります。「しゃべるドーナツ」がコミュニケーションツールになると期待しました。



①ひとつひとつ丁寧に、“しゃべりそうな”ドーナツを選別。また、「人懐っこそう」などビジュアルも重要な要素だ。



②実地訓練で話しかける研究者と、オチがないことにいら立つ様子のドーナツ。この地道な努力が開発の成功を支えた。



③骨伝導の仕組みも活用し、ドーナツ自体に振動を与え、言語を記憶させる。

【商品開発担当者からのコメント】

「しゃべるドーナツ」開発にあたり、シンプルですが、非常に手間のかかる努力を積み重ねました。当社の商品開発担当チームが、毎日、「おはようございます」の挨拶に始まり、楽しい話や少し悲しい話、商品開発の苦労話まで、さまざまな言葉を投げかけ続け、「しゃべるドーナツ」と“会話”を地道に繰り返しました。ひとつの商品ごとに投げかけた“会話”の回数は 1072 万回にも及びます。それにちなんで、価格も 1072 万円とさせていただき、通常の商品よりも少々高くなっております。「1072」は「ドーナツ」とも読めなくもない、ゴロの良い数字なので、採用させていただきました。

※お詫び：【近日中にプロモーション動画を公開！】

今回のリリースに先立ち、「しゃべるドーナツ」の証明となる、プロモーション動画の制作を予定しておりましたが、「動画撮るよ！といったとたん、頑固に拒否された。」「自由奔放に逃げられた。」など諸般の事情により、残念ながら間に合いませんでした。撮影次第、近日中には公開を予定しておりますので、どうぞご期待ください。

<ご注意>

最後までご覧いただきまして誠にありがとうございました。
こちらは、エイプリルフール企画となっており、実際には発売いたしません。
予めご了承ください。